

# 学校だより

No. 6

青梅市立第三小学校  
校長 八木 慎一

令和5年8月28日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

## 地域と共に歩む「歴史と伝統」

校長 八木 慎一

本校舎の正面玄関の脇にある百日紅(さるすべり)が、太陽に照らされて赤い花を際立たせています。朝晩の空気に少しだけ秋の訪れも感じますが、厳しい暑さの残る中、二学期がスタートしました。学校は子供たちの元気な声が戻ってきて一気に活気づきました。休み中に子供たちに大きなケガや事故の報告がなかったことが本当にうれしいです。

ところで、今年の夏の甲子園(全国高校野球大会)は、神奈川県代表の慶応義塾高等学校が熱戦を制して見事優勝に輝きました。慶応高校は大正時代の1916年の第2回大会以来、実に107年ぶり2回目の優勝だそうです。今回は神奈川県代表としての出場でしたが、107年前に優勝した当時は東京に学校があったので、慶応は東京代表として出場していたそうです。長い歴史をもつ学校ならではの逸話です。

さて、長い歴史と伝統という点においては本校も慶応に負けていません。本校は明治5年の学制発布の頃に開かれた明倫学校などを起源として産声をあげ、今年で150歳になりました。このことをお祝いするため「開校150周年記念式典」を、9月16日(土)に開催いたします。当日は6年生と5年生だけが児童代表として参列しますが、1年生～6年生まで児童全員に、150周年を祝う記念誌とPTAからの記念品が後日配られます。なお、当日は1年生～4年生はお休みとなります。本来であれば全校児童が参列し、たくさんのご来賓をお招きして盛大にお祝いしたいところですが、体育館の広さを考慮し、安全と健康を優先して参加者を制限させていただきました。何卒ご理解ください。

150年という節目が、「これからも三小をもっと良い学校にしたい!」という気持ちを子供も大人も高める機会になることを期待しています。

## 生活指導部より

### 【自己肯定感の高まりを目指して】

1学期に6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が行われました。主には学習に関する内容でしたが、一部生活指導に関わる内容もありました。その中でも「自分にはよいところがあると思う」や「他者は自分のよいところを認めてくれていると思う」など自己肯定感に関する質問に対して、本校は都や全国に比べて「当てはまる」の回答が低いことが分かりました。自己肯定感自己表現や自己実現の上でとても大切になるものです。自己肯定感のもち方は、レギュラーな場面やスペシャルな場面を問わず、日常の様々な場面と密接に関わっています。夏休み最初のドルフィンスクールでは、25メートルを完泳した子どもたちの嬉しそうな顔や充実感に満ちた顔が印象的でした。きっと、本人たちの自信につながったことでしょう。さて、2学期は一番登校日数が多く、行事も多い学期です。生活の、あるいは、人生の土台となる自己肯定感を三小スポーツDAYや音楽会等を含め、日々の学校生活を通して高めていきたいと考えます。

### 【ふれあい月間に伴う児童の実態把握のためのアンケート】

児童の実態把握や、いじめの早期発見・早期解決のためのアンケートを6月に実施しました。2学期は9月と11月に実施の予定です。

日頃の指導とともにアンケートを活用することで、引き続きみんなが安心安全に過ごせる青梅三小を目指して参ります。